

令和 3 年（2021 年）12 月 16 日

米原市長 平 尾 道 雄 様

米原市総合計画審議会

会長 鵜 飼 修

第 2 次米原市総合計画の実態把握と中間評価に伴う見直しについて（答申）

令和 3 年（2021 年）7 月 28 日付け米政第 125 号で諮問のありました第 2 次米原市総合計画の実態把握と中間評価に伴う見直しについて、慎重に審議した結果、別添のとおり答申します。

なお、総合計画の推進にあたっては、本答申や審議過程で各委員から出された意見に十分配慮し、まちの将来像の実現に向けて市民と一体となり取り組まれるとともに、下記の事項について留意されるよう要望します。

記

- 1 人口減少や少子高齢化、新型コロナウイルス感染症の流行による新しい生活様式、デジタル社会の進展等、米原市を取り巻く環境はこれまでも増して大きく変化している。こうした社会情勢の変化に対し、柔軟な対応と新たな発想で人口減少に立ち向かう取組と、人口減少に備える取組を進め、持続可能な米原市の創造を目指すこと。
- 2 人生 100 年時代を迎え、子どもから高齢者まであらゆる世代のライフスタイルの充実に取り組むとともに、特に、米原市の未来を担う子どもや若者を社会全体で見守り、育てる意義を市民全員が共有し、ふるさとに誇りや愛着を持ちながらあらゆる世代が安心して暮らせ、チャレンジや活躍のできる環境の整備に取り組むこと。
- 3 本計画の趣旨や取組状況のほか、その他の市の方針や取組について、情報の発信や丁寧な説明に努め、市民とまちづくりの方向性の共有を図るとともに、市民ニーズを的確に把握し、施策に柔軟に反映するよう努めること。